

韓国行ってみたらこんなトコだった!?

中学校2年 宮澤朝凪

きっかけ

私の家では6年ほど前からホストファミリーとして約30人の留学生を受け入れてあります。その留学生の方達はスペインや中国などと様々な国から来ています。その中で特に多いのが韓国の留学生なのです。そして、その人達は日本のキムチについて口を揃えて「日本のキムチはあまい」というのです。しかし、本場韓国のキムチを実際に食べたことがないのでどんな味なのか想像もつかなかったです。そんな中この事業に出会って、味を確かめるチャンスだと思いました。また、私は英語で話すことが得意ではなかったので高い語学力を身につけるためにも良いと思いました。

体験

右の写真は私が韓国で食べた朝食です。とてもおかずの種類が多く、お腹いっぱい食べることができました。また写真にも写っているように食事の際には必ずと言って良いほどキムチが出てきました。そして、その味はとても辛く甘味はほぼなかったです。しかし、キムチの旨味がしっかりしていて、日本のキムチとは



また違ったものでとても美味しかったです。また、キムチだけではなく韓国の料理は全般に辛く、辛いものが好きな僕にとって素晴らしい食文化だと思いました。

2日目の夕方には、私達はもともと約束していたTシャツを買いに行きました。それもただのTシャツではなく2人でお揃いのTシャツを買いました。また、その後一緒に靴下も買いに行くことになりました。そして、一緒に同じTシャツなどを買うことで兄弟のように一気に距離が縮まったような気がしました。このようにホストファミリーの方々には私を本当の家族として接してくれたので緊張もすぐにほぐれ、また、本当に嬉しかったです。



3日目には、韓国の伝統的な場所である全州韓屋村という場所に向かいました。韓屋とは韓国の伝統的な建築様式を使用した建物で、この韓屋村にはそのような建物がたくさんありました。そして、その韓屋の屋根は日本と同じく瓦で作られており、外国に来て日本との親近感を感じることができました。またこの韓屋村では、下の写真のように韓国の伝統的な衣装も試着できるのです。実際に私

(写真右)は実在した王様と同じ衣装をきて、ハンギョル君(写真左)は王様の付き人の衣装を着てとてもかっこよかったです。しかし、この日はとても暑かったので最後にこの衣装を返す時に衣装を脱いだら二人とも服が汗でびしょりになっていて外を歩くのが少し恥ずかしかったです。昼食もこの韓屋村で食べることになりました。そこで食べたものがビビンバです。韓国食の代名詞と言っても過言ではないこのビビンバは、コチュジャンなどの調味料が使われており、とても美味しかったです。日本で食べるものとはおいしさが比べ物にならなかったです。

今後

今回の事業でたくさんのごことを経験し、学ぶことができました。特に印象に残っていることは二つあります。1つ目はホストファミリーとのコミュニケーションについてです。当初の目的であった高い語学力は正直あまり身につけていないと私は考えます。実際に「yes」、「no」などの基本的

なことしかほとんど話せなかったからです。しかし、私たちはとても仲良くなることができました。それはやはり、コミュニケーション能力が身についたからだと思います。言葉はあまり喋ることができなくても、心配する必要なんてない、むしろ、笑顔などの表情や身振り手振りなどのボディランゲージの方がよっぽど大事だということに気がつかされました。2つ目は、韓国の人の人柄です。ホストファミリーの方々が、家族のように接してくれたその人懐っこさは本当に嬉しかったです。最後には本当の家族になれたと思いました。一緒に過ごした4日間は本当に忘れられない思い出です。しかし、私のこのホームステイ事業は終わってません。この韓国に行って体験したニュースなどではわからない内面を友達に伝えることで、韓国のみならず海外に興味を持ってもらいたいです。そして、他の友達にもこのような貴重な体験を是非してもらいたいです。また、私自身も今回身につけたコミュニケーション能力を活かしていきたいと考えています。

